

PRINCETON

MISTEL

BAROCCO MD770 PRO

ML-MD770PRO-US シリーズ

ユーザーズガイド

お買い上げありがとうございます。

ご使用の際には、必ず以下の記載事項をお守りください。

- ご使用の前に、必ず本書をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上でご使用ください。
- 別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。
- 本書は保証書と一緒に、大切に保管してください。

- 本機器の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。
- 本書の内容は予告なく変更されることがあります。
- 本書の著作権は株式会社プリンストンにあります。
- 本書の一部または全部を無断で使用、複製、転載することをお断りします。
- 本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標、および登録商標です。
- 本書では®™は明記していません。
- 本機器の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねます。予めご了承ください。

株式会社プリンストン

2026年6月初版

Copyright © 2026 Princeton Ltd.

目次

同梱品	1	OS モードの切り替え (Mac ⇄ Windows)	6
仕 様	1	Mac モードのキー操作	6
使用上の健康と安全に関するご注意	2	Windows モードのキー操作	6
使用上のご注意	2	Mac モード・Windows モード共通のキー操作	6
安全上のご注意	2	左 [Windows] キーをロック／解除する	7
本製品で使用する電波について	2	NKRO (N キーロールオーバー) を有効／無効にする	7
内蔵リチウムポリマーバッテリーに関するご注意	2	CapsLock を有効／解除する	7
キーボードに関するご注意	3	RGB バックライトについて	8
印字通りに正しく入力できない? (キーボードの配列設定)	3	ファームウェアの書き換えについて (DFU モード)	9
各部の名称	4	VIA app について	11
LED の動作について	4	VIA app の主な使い方	12
キーボードの準備 (有線接続／USB モード)	5	リセット／工場出荷時の状態に戻す	14
キーボードの準備 (無線接続／2.4GHz 無線モードおよび Bluetooth モード)	5	製品保証に関して	15
[Fn] キーとの組み合わせで使用するキー	6	困った時は?	15
		テクニカルサポート	15

同梱品

本製品のパッケージの内容は、次の通りです。

お買い上げのパッケージに次のものが同梱されていない場合は、販売店までご連絡ください。

キーボード本体 (親機／右側 × 1、子機／左側 × 1)	1 式	交換用キースイッチ	2
PC 接続用 USB ケーブル (USB-A ⇄ USB-C / ケーブル長: 約 1.8m)	1	交換用キーキャップ (ESC / Enter)	各 1
連結用 USB C ケーブル (USB-C ⇄ USB-C カールタイプ)	1	キーボードチルトスタンド (高) ※	4
2.4GHz 無線レシーバー	1	キーボードチルトスタンド (低) ※	4
Mistel キーブラー (キーキャップ／キースイッチ取り外し工具)	1	交換用ゴム足	2

クイックスタートガイド (英語)	1
------------------	---

※ キーボード底面に取り付け済みのゴム足と置き換えてご使用ください。

仕 様

商品名	BAROCCO MD770 PRO RGB BT
接続方法	有線 USB / 無線 2.4GHz / 無線 Bluetooth 5.0
キー配列	英語 US 配列
キー数	83 キー
キーキャップ	PBT (Cherry プロファイル互換)
キー印字	ダブルショット
キースイッチ	Cherry MX 互換
バックライト	RGB
ホットスワップ	○
マクロ機能	○
ポーリングレート	USB / 2.4GHz = 1000Hz, Bluetooth = 125Hz
N キーロールオーバー	○
VIA	○
メディアキー	○
電源	内蔵リチウムポリマー電池・USB バスパワー
連続使用可能時間	最大 85 時間 (バックライト消灯時)
バッテリー充電時間	約 4 時間
本体サイズ	左: 約 L144 × W135 × H37mm 右: 約 L187 × W135 × H37mm
重量	約 1.325g (左右一体時)

■ 対応 OS (2026 年 6 月現在 ※)

Windows 11, macOS, Android, iOS, iPadOS

※ macOS は macOS Tahoe (macOS 26) にて動作確認済み。

※ OS のアップデートやハードウェアの仕様変更により対応できかねる場合がございます。予めご了承ください。

■ 動作環境に関するご注意

- 本製品はホットプラグ対応製品ですが、OS 起動中に抜き差しを繰り返すと、動作が不安定になる場合がございますのでご注意ください。
- KVM スイッチ (CPU 切替機) や USB ハブを併用した環境での動作は保証していません。
- USB2.0 もしくは USB1.1 ポートへの接続を推奨します。
- USB3.0 ポートでのご使用は、BIOS の設定変更が必要な場合があります。
- セットアップの際は、管理者権限を持つユーザーでログインしてください。

使用上の健康と安全に関するご注意

- ・長時間のご使用は身体への負担が大きく、場合によってはお身体に違和感（痛みや痺れ、筋肉異常など）が生じる可能性があります。お身体に違和感を感じる前に休息を確保してください。
- ・お身体に違和感を感じた場合、直ちに本製品の使用を中止してください。休息しても改善しない場合や使用後すぐに違和感を感じる場合、使用時以外でも違和感が続く場合は、長時間の製品使用を避けるなどしてください。また必要に応じて医師にご相談ください。
- ・使用中は本体が熱を持つ場合があります、長時間ふれたままにすると低温火傷の原因となる場合がございますのでご注意ください。異常な発熱を感じた際は、直ちに使用を中止して接続している機器から取り外してください。

使用上のご注意

本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。定期的にバックアップを取るなどの対策を予め行ってください。誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますので予めご了承ください。

安全上のご注意

本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本製品のご使用に際しては、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、必要なときに参照できるように、本書を大切に保管しておいてください。

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、本文をお読みください。

	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うなど人身事故の原因となることがあります。
	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生することがあります。

図記号の意味	
	注意を促す記号（△の中に警告内容が描かれています。）
	行為を禁止する記号（○の中や近くに禁止内容が描かれています。）
	行為を指示する記号（●の中に指示内容が描かれています。）

危険

- 本製品はパソコンなどの一般的なOA機器に使用することを目的に設計・製造されています。人命に直接関わる場所や医療機器、輸送機器などの高い信頼性が要求される用途や目的には使用しないでください。

警告

- 次のような異常が発生したときはそのまま使用したり、パソコンに接続しないでください。「煙が出てい、変な匂いがするなど異常があるとき」「内部に液体や金属物、異物が入ってしまったとき」「落下したり強い衝撃が加わったとき」「破損したとき」
- 次のような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因になります。接続されている機器を取り外し、販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 次のような使用しないでください。「本製品を分解、改造する」「水などの液体で濡らす」「本製品の上に物を置く」「調理台のそばなど油煙があたる場所、浴室等、湿気が多い場所で使用する」「コネクターに異物を挿入する」「濡れた手で設置や操作をする」これらの使用は本製品の火災、感電、破損、怪我の原因になりますので絶対におやめください。
- ケーブルを使用する際は下記のような使用はしないでください。「ケーブルに負荷をかけたり無理な力で巻く」「ケーブルのコネクターが正しく接続されていない状態で使用する」「ケーブルを接続したまま持ち運ぶ」これらの使用は本製品の火災、感電、破損、怪我の原因になりますので絶対におやめください。

注意

- 次のような場所に設置・放置しないでください。火災、感電、怪我の原因になることがあります。「湿気や埃が多い場所」「ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所」「調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気があたる場所」「直射日光やストーブのような熱器具の近くなど、高温になる場所」「強い磁界が発生する場所」
- 次のような場所で使用しないでください。火災、感電、怪我、故障の原因になることがあります。「湿気や埃が多い場所」「ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所」「調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気があたる場所」「直射日光やストーブのような熱器具の近くなど、高温になる場所」「強い磁界が発生する場所」
- 下記の用法に従い正しくご使用ください。誤った使用は火災、感電、怪我、故障の原因になることがあります。
 - ・お手入れの際は、接続されている機器を取り外してください。汚れがひどい場合は、中性洗剤等で拭き取ってください。シンナーやベンジンなどは、絶対に使わないでください。
 - ・長い間使用しない場合は、接続されている機器を取り外してください。
 - ・本書記載の動作環境内でご使用ください。
 - ・ケーブルは接続方向をよく確認の上、接続してください。
 - ・本書に記載されている以外の機器を接続しないでください。

本製品で使用する電波について

本製品は2.4GHz帯域の電波を使用しています。本製品を使用する上で、無線線の免許は必要ありませんが、以下の注意をご確認ください。

以下の近くでは使用しないでください。下記の機器などは本製品で使用している無線と同じ周波数帯を使用しており電波の干渉を発生する恐れがあります。

- ・電子レンジ／ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
- ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- ・特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

2.4GHz帯使用の無線機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- ・この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
- ・万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに電波の放射を停止した上、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）については、弊社テクニカルサポートへお問い合わせください。
- ・その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、弊社テクニカルサポートへお問い合わせください。

良好な通信のために

- ・他の機器とは、見通し距離の良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと通信できないことがあります。
- ・電気製品（AV機器、OA機器など）から2m以上離して通信してください。（特に電子レンジは通信に影響を受けやすいので3m以上離してください。）正常に通信できなかったり、テレビ、ラジオなどの場合は、受信障害になる場合があります。
- ・無線機や放送局の近くで正常に通信ができない場合は、通信場所を変更してください。
- ・使用しないときは、本製品をパソコンから取り外しておくことをおすすめします。

無線LAN機器との電波干渉について

- ・IEEE802.11b/g/n/axの無線LAN機器と本製品などの2.4GHz無線通信機能を搭載した機器は同一周波数帯を使用するため、お互いを近くで使用すると、電波障害が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。

間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません

- ・本製品で使用する電波は、通常の家庭で使用される木材やガラスなどは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されていると通信できません。
- ・本製品は電波を使用しているため、第三者に通信内容を傍受される可能性もありますので、ご留意ください。

内蔵リチウムポリマーバッテリーに関するご注意

- ・消耗品ですので、保証の対象にはなりません。
- ・電池には寿命があります。使用状態によって異なりますが、十分に充電した電池で使用時間が著しく短くなってきたり、ご使用いただけない場合は、電池の寿命です。弊社では電池の交換を行っておりますので、新しい製品をご購入ください。なお、電池の寿命は使用状態などによっても異なります。予めご了承ください。
- ・使用を一時停止される際はバッテリー残量を50%～80%にして涼しい場所で保管してください。また、バッテリーは自然放電で残量が低下しますので使用されていない場合でも数か月に1度程度の隔隔でバッテリー残量をご確認いただき、必要に応じて充電してください。
- ・充電残量がない状態で長期間経過すると、過放電によりバッテリーを痛め場合によっては再充電ができなくなる場合があります。充電残量が20%以下になる前に、充電を行うことをおすすめいたします。
- ・高温環境での使用や保管はバッテリーの劣化を早めます。劣化したバッテリーに充電すると、バッテリーパックが膨張するなど大変危険です。充電しても動作しない、充電ができないなど異常がみられた場合は使用を中止し、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

キーボードに関するご注意

■ 本製品は英語 US ANSI 配列キーボードです

日本語 JIS 配列キーボードをお使いの場合、予め OS 側の設定変更が必要です。キーボードの配列設定変更については、「印字通りに正しく入力できない? (キーボードの配列設定)」をご覧ください。

■ LED の色について

- ・キースイッチによっては LED の光が軸に反射するため、少し色が異なることがあります。

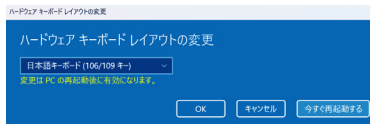
印字通りに正しく入力できない? (キーボードの配列設定)

現在使用しているキーボードや OS の設定によっては、本製品を接続してもキーの印字通りに入力できない場合がございます。(例:[Shift] + [8] を入力したら [*] では無く [() (括弧)] が入力されるなど) 必要に応じてキーボードの配列設定変更を行ってください。詳しい設定方法はご使用の OS のヘルプを参照してください。

Windows 11 の場合

1. Windows マークを右クリック→「設定」を表示
2. 「時刻と言語」を選択
3. 「言語と地域」を選択
4. 「言語」の「日本語」の「…」アイコンから「言語のオプション」を選択
5. キーボードの「キーボードレイアウト」から「レイアウトを変更する」を選択

6. 「ハードウェアキーボードの変更レイアウトの設定」で使用するキーボード配列を選択して「今すぐ再起動する」を押して PC を再起動します。



(例: US ANSI 配列キーボードの場合、「英語キーボード (101/102 キー)」を選択します。

macOS の場合

初めてキーボードを接続した際に起動される「キーボード設定アシスタント」から設定してください。



手動で「キーボード設定アシスタント」を起動する際は、ターミナルから下記コマンドを入力してください。

```
open /System/Library/CoreServices/KeyboardSetupAssistant.app
```

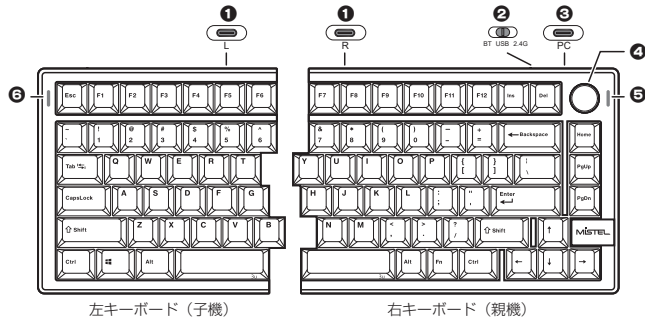
Android の場合

「設定」→「システム」→「キーボード」→「物理キーボード」から設定を行ってください。

iOS/iPadOS の場合

「設定」→「一般」→「キーボード」→「ハードウェアキーボード」→「Keyboard Type」から設定を行ってください。

各部の名称



左キーボード（子機）

右キーボード（親機）

① キーボード接続用 USB-C ポート

② 接続モードスイッチ

「USB モード」「2.4GHz 無線モード」「Bluetooth モード」を切り替えます。

③ PC 接続用 USB-C ポート

USB 有線接続（USB モード）およびキーボードの充電に使用します。

④ ノブコントローラー

回すまたは押し込むことで、キーボードのバックライト各種設定やボリュームコントロールに使用します。（後述）



回転
ノブを回す。



クリック
ノブを押し込む。

⑤ LED1

⑥ LED2

■ ノブコントローラーの操作

ノブコントローラーには「音量調整モード」と「[Fn] キーを押しながら操作する「RGB モード」の2つのモードがあります。

音量調整モード（デフォルト）

PC や接続デバイスのオーディオ音量を手元で直感的にコントロールできます。

時計回り（右に回す）	音量を上げる
反時計回り（左に回す）	音量を下げる
ノブを押し込む（クリック）	ミュート（消音）/ ミュート解除

RGB モード

キーボード全体のバックライト（ライティング）の輝度やエフェクトを調整できます。
[Fn] キーを押しながらノブを操作してください。

 【Fn】キー を押しながら	時計回り（右に回す）	RGB バックライトの輝度（明るさ）を上げる
	反時計回り（左に回す）	RGB バックライトの輝度（明るさ）を下げる
	ノブを押し込む（クリック）	RGB バックライトのエフェクトを順番に切り替える（全8種類）

LED の動作について

① LED1（親機 右端）

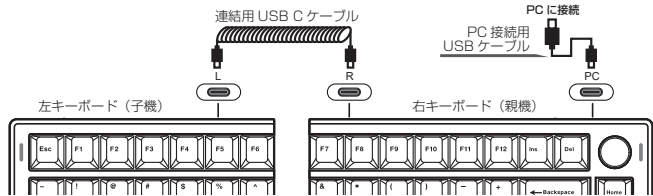
色	回数	キーボードの状態
白	1 回点滅	Windows OS モードへの切替（Fn + N）
白	1 回点滅	VIA 設定のリセット（Fn + R / LED2 と連動）
白	2 回点滅	Mac OS モードへの切替（Fn + M）
白	3 回点滅	工場出荷時リセット（L_Alt + R_Alt / LED2 と連動）
青	高速点滅	Bluetooth 機器 1（MD770 PRO-1）のペアリングモード中（Fn + 7）
橙	高速点滅	Bluetooth 機器 2（MD770 PRO-2）のペアリングモード中（Fn + 8）
紫	高速点滅	Bluetooth 機器 3（MD770 PRO-3）のペアリングモード中（Fn + 9）
緑	高速点滅	2.4GHz レシーバーとのペアリングモード中（Fn + 0）
緑	常時点灯	バッテリー満充電（充電完了）
黄	常時点灯	バッテリー充電中
赤	点滅継続	バッテリー残量低下（15% 以下）



② LED2（子機 左端）

色	回数（点灯時間）	キーボードの状態
白	2 秒間点灯	有線（USB）モードへの切替（接続モードスイッチ操作時）
白	1 回点滅	VIA 設定のリセット（Fn + R / LED1 と連動）
白	3 回点滅	工場出荷時リセット（L_Alt + R_Alt / LED1 と連動）
青	2 秒間点灯	Bluetooth モードへの切替（接続モードスイッチ操作時）
青	2 秒間点灯	現在の接続先が「Bluetooth 機器 1（MD770 PRO-1）」であることの確認（Fn + Esc）
橙	2 秒間点灯	現在の接続先が「Bluetooth 機器 2（MD770 PRO-2）」であることの確認（Fn + Esc）
紫	2 秒間点灯	現在の接続先が「Bluetooth 機器 3（MD770 PRO-3）」であることの確認（Fn + Esc）
緑	2 秒間点灯	2.4GHz ワイヤレスモードへの切替（接続モードスイッチ操作時）

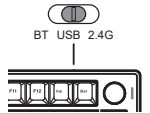
キーボードの準備（有線接続／USB モード）



1. 付属の連結用 USB-C ケーブルで左右のキーボードを接続します。
2. USB 接続でパソコンと使用する場合は、付属の PC 接続用 USB ケーブルの USB-C コネクターを右キーボード（親機）の右側の PC 接続用 USB-C ポートに接続し、USB-A コネクターをパソコンの USB ポートに接続してください。
3. 親機の接続モードスイッチを「USB」（中央）にします。



キーボードの連結および連結の解除は接続モードスイッチを「USB」の状態で行ってください。



キーボードの準備（無線接続／2.4GHz 無線モードおよび Bluetooth モード）

キーボードを充電する

無線モードで使用する際は、最初下記の手順でキーボードを充電してください。

1. 付属の PC 接続用 USB ケーブルの USB-C コネクターを、右キーボード（親機）の PC 接続用 USB ポートに接続します。
2. USB-A コネクターを PC の USB ポートまたは 5V の USB 充電器に接続します。

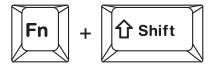
完全充電まで：約 4 時間（※本製品は急速充電には対応しておりません。）

充電中は LED1 の点灯状態で、充電状況を判断できます。

黄色で点灯	充電中
緑色で点灯	満充電（完了）

■ ワイヤレス使用時のバッテリー残量確認

ワイヤレス（Bluetooth / 2.4GHz）モードで使用している際、[Fn] キーを押しながら [右 Shift] を押すとキーボード全体のバックライトが一度消え、数字キーの「7」～「-」の列が点灯します。キー 1 つあたり「20%」の残量を表し、赤色：20% 未満、黄色：60% 未満、緑色：100% 付近を表します。



例：緑色 4 つ点灯＝残量 約 80%

■ LED1 が赤色で点滅している場合（バッテリー残量警告）

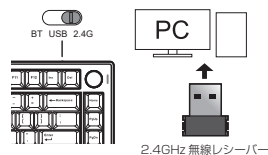
バッテリー残量が 15% 以下になると LED1 が赤色で点滅します。すみやかに充電してください。残量が 5%（電圧 3.0V）を下回ると、キーボードが動作を停止（自動シャットダウン）します。

■ 省電力機能／スリープモードについて

- ・無線接続時は充電中でも無操作で 10 分程度経過するとバックライトが自動的に消灯します。
- ・20 分程度入力がない場合省電力モードに移行します。省電力モードを解除する場合はキーボードのいずれかのキーを押してください。

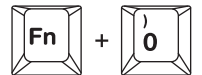
2.4GHz 無線モードの準備／ペアリング

1. 付属の連結用 USB-C ケーブルで左右のキーボードを接続します。
2. 接続モードスイッチを「2.4GHz 無線モード」側にすると LED1 が緑色で点滅します。
3. 2.4GHz 無線レシーバーをパソコンの USB ポートに接続すると、自動的に接続を開始して LED1 が消灯します。



■ 2.4GHz 無線レシーバーとペアリングする場合

本製品はペアリング済みで出荷されていますが、2.4GHz 無線モードで LED1 がゆっくり緑点滅を繰り返す場合、2.4GHz 無線レシーバーとの通信ができていない可能性があります。2.4GHz 無線レシーバーを他の USB ポートに変更してもキーボード入力ができない場合は下記手順で再ペアリングをお試しください。



1. 2.4GHz 無線レシーバーをパソコンの USB ポートに接続します。
2. [Fn] キーと [0] キーを長押し（約 3 秒）すると LED1 が緑色で高速点滅してペアリングモードになります。自動的に dongle と同期して接続されます。

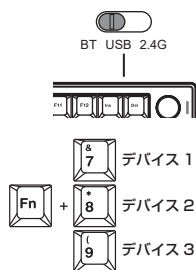
※ 他に 2.4GHz 無線レシーバー対応の Mistel 製品をご使用の際は、ペアリングする 2.4GHz 無線レシーバー以外は USB ポートから抜いておいてください。

Bluetooth モードの準備（機器の登録／ペアリング）

1. 付属の連結用 USB-C ケーブルで左右のキーボードを接続します。
2. 接続モードスイッチを「Bluetooth モード」側にします。
3. 本製品は 3 つのデバイスチャンネルを使用して、3 台の機器とペアリングすることが可能です。

下記表の切替操作を長押し（約 4 秒）することでペアリングモードになります。ペアリングモード時は LED 1 が高速で点滅（※）します。

※ 点滅する LED 色はデバイスチャンネルによって変わります。（デバイス 1 は青、デバイス 2 は橙、デバイス 3 は紫）



デバイスチャンネル	ペアリング操作（約 4 秒長押し）
デバイス 1 (MD770 PRO-1)	[Fn] キー + [7] キー
デバイス 2 (MD770 PRO-2)	[Fn] キー + [8] キー
デバイス 3 (MD770 PRO-3)	[Fn] キー + [9] キー

4. 接続先のデバイスで Bluetooth デバイスの検索を行い、手順 3 で選択したチャンネル（MD770 PRO-1 ～ 3）を登録してください。接続が完了すると LED1 が消灯します。

■ ペアリング済みの機器で使用する場合（チャンネルの切り替え）

1. 接続モードスイッチを「Bluetooth モード」側にします。
2. 下記表の切替操作をすることでチャンネルを切り替えることができます。チャンネルが切り替わる際に接続が確立するまで LED1 がデバイスチャンネルの色でゆっくり点滅します。（接続確立まで時間がかかる場合がございます）接続が完了すると LED1 は消灯します。

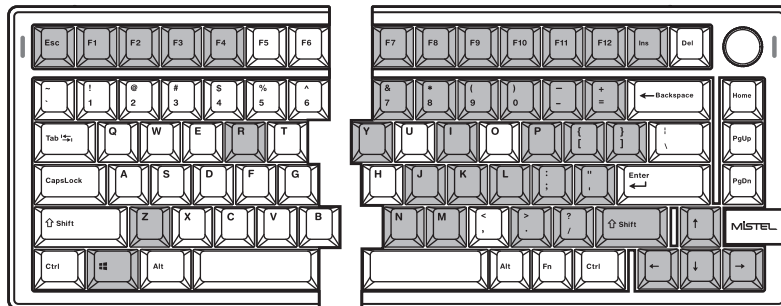
デバイスチャンネル	切替操作（1 回押す）
デバイス 1 (MD770 PRO-1)	[Fn] キー + [7] キー
デバイス 2 (MD770 PRO-2)	[Fn] キー + [8] キー
デバイス 3 (MD770 PRO-3)	[Fn] キー + [9] キー

HINT

- ・途中パスコードが表示された場合は画面の指示に従って入力してください。
- ・正しくペアリングできない、ペアリング後の動作が不安定な場合は、一度デバイスを削除して再度機器の登録を行ってください。

[Fn] キーとの組み合わせで使用するキー

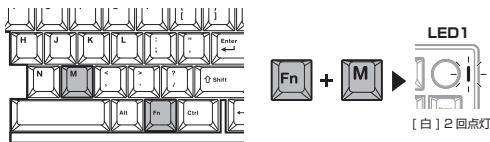
右イラストのキー（グレー）は [Fn] キーと組み合わせで押すことで様々な操作が可能になります。



OS モードの切り替え (Mac ⇄ Windows)

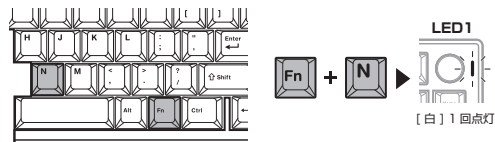
macOS で使用する (Mac モード)

【 Fn 】キーを押しながら【 M 】キーを押します。モードが切り替わると【 LED1 】が2回点滅（白色）します。



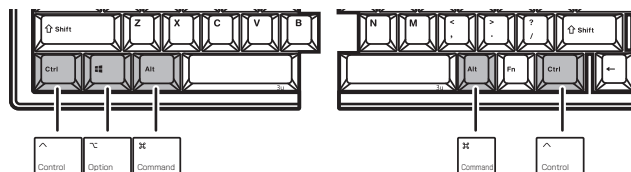
Windows で使用する (Windows モード)

【 Fn 】キーを押しながら【 N 】キーを押します。モードが切り替わると【 LED1 】が1回点滅（白色）します。



Mac モードのキー操作

左 [Windows] キーと左 [Alt] キーが入れ替わり、[Option] キーと [Command] キーの機能が追加されます。



Windows モード時	Mac モード時の動作
左 [Windows] キー	左 [Option] キーとして機能
左 [Alt] キー	左 [Command] キーとして機能
右 [Alt] キー	右 [Command] キーとして機能

※ [Fn] キーを押しながら押すことで、通常の [F1] ～ [F12] キーとして機能します。

キー操作	動作
[F1] キー	ディスプレイ輝度を下げる ※1
[F2] キー	ディスプレイ輝度を上げる ※1
[F3] キー	Mission Control
[F4] キー	Spotlight ※2
[F7] キー	前のトラックへ ※3
[F8] キー	トラックの再生／一時停止 ※3
[F9] キー	次のトラックへ ※3
[F10] キー	ミュート（消音）
[F11] キー	音量を下げる
[F12] キー	音量を上げる

※1：ラップトップ／ノート機種のみ機能します。外付けディスプレイでは動作しません。

※2：有線接続 (USB モード) 時のみ機能します。

※3：Apple Music などのメディアプレーヤーが起動中の時に動作します。

Windows モードのキー操作

[Fn] キーを押しながら特定のキーを押すことで下記の操作が可能になります。

例：電卓を起動する → [Fn] キーを押しながら [Y] キーを押す

キー操作		動作
 【 Fn 】キー を押しながら	[F7] キー	前のトラックへ
	[F8] キー	トラックの再生／一時停止
	[F9] キー	次のトラックへ
	[F10] キー	ミュート（消音）
	[F11] キー	音量を下げる
	[F12] キー	音量を上げる
	[Y] キー	電卓を起動
	左 [Windows] キー	押す毎に 左 [Windows] キーをロック／解除

Mac モード・Windows モード共通のキー操作

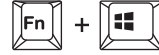
キー操作	動作
[F7] キー	Bluetooth モード時にデバイスチャンネル 1 への切り替え／ペアリング
[F8] キー	Bluetooth モード時にデバイスチャンネル 2 への切り替え／ペアリング
[F9] キー	Bluetooth モード時にデバイスチャンネル 3 への切り替え／ペアリング
[O] キー	2.4GHz 無線モード時に 2.4GHz 無線レシーバーとのペアリング
右 [Shift] キー	バッテリー残量確認
[P] キー	[PrtSc] (PrintScreen) キーと同じ動作 ※1
[[] キー	[Scroll Lock] キーと同じ動作 ※1
[I] キー	[↑] キーと同じ動作
[K] キー	[↓] キーと同じ動作
[J] キー	[←] キーと同じ動作
[L] キー	[→] キーと同じ動作
[Z] キー	[APP / Menu] キーと同じ動作
[N] キー	NKRO の有効 / 無効切替
[Insert] キー	インジケータ (LED1、LED2) の輝度調整 押すたびに明るさが 33% ～ 66% ～ 100% の順で切り替わります。
[R] キー (3秒間長押し)	VIA 設定のリセット LED1 と LED2 が白色に 1 回点滅します。
[Esc] キー	現在の Bluetooth 接続チャンネルの確認 LED2 が 2 秒間点灯します (青＝機器 1 / 橙＝機器 2 / 紫＝機器 3)。
[-] キー	RGB バックライトの点灯モード変更 ※2
[=] キー	RGB バックライト点灯／消灯の切り替え (Toggle RGB)
[↑] キー	RGB バックライトの輝度を上げる ※2
[↓] キー	RGB バックライトの輝度を下げる ※2
[←] キー	RGB バックライトの点灯速度を遅く ※2
[→] キー	RGB バックライトの点灯速度を速く ※2
[;] キー	RGB バックライトの色相 (Hue) 変更 (マイナス方向)
['] キー	RGB バックライトの色相 (Hue) 変更 (プラス方向)
[.] キー	RGB バックライトの彩度 (Saturation) ダウン
[/] キー	RGB バックライトの彩度 (Saturation) アップ

※1：Mac では [PrtSc] は [F13]、[Scroll Lock] は [F14]、[Pause] は [F15] として機能します。

※2：本製品のバックライトがオンの時に動作します。また、バックライトの点灯モードによってはカラー変更と速度変更できないものがあります。

左 [Windows] キーをロック／解除する

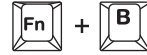
【Fn】キーを押しながら左【Windows】キーを押すと、左 [Windows] キーがロックされます。
ロック時は Windows キーの LED が白点灯します。
ロックを解除する場合、再度上記操作を行ってください。



※ Windows モードのみ。

NKRO（N キーロールオーバー）を有効／無効にする

【Fn】キーを押しながら【B】キーを押す毎に「6 キーロールオーバー」と「N キーロールオーバー」が交互に切り替わり、
【B】キーのバックライト（キーバックライト）の点滅回数で現在のモードを確認できます。



【B】キーのバックライトが白色に 3 回点滅 ⇒ N キーロールオーバーが有効
【B】キーのバックライトが白色に 1 回点滅 ⇒ 6 キーロールオーバーが有効

※ mac モードでは、ワイヤレス接続（Bluetooth および 2.4GHz）時は 6 キーロールオーバーに制限されます。

CapsLock を有効／解除する

【CapsLock】キーを押す毎に「CapsLock」の有効と解除が交互に切り替わります。
「CapsLock」が有効の場合、【CapsLock】キーの LED が白色点灯します。

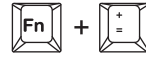


※ OS の設定により「CapsLock」の有効／解除の操作方法が異なる場合もあります。

RGB バックライトについて

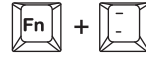
■ 点灯モードの種類と順番

[Fn] キーを押しながら [=] キーを押す毎に、バックライトのオン／オフを切り替えることができます。



■ 点灯モードの種類と順番

[Fn] キーを押しながら [-] キーを押す毎に、バックライトの点灯モードを下記表の点灯順に切り替えることができます。



キー入力による変更／調整						
点灯順	点灯モード		色相	彩度	輝度	速度
1	CYCLE LEFT RIGHT モード	レインボーグラデーションが、左から右へと波のように滑らかに流れる	—	○	○	○
2	Breathing モード	ゆっくりと点灯消灯を繰り返す	○	○	○	○
3	SOLID モード	常時点灯	○	○	○	—
4	RAINBOW BEACON モード	キーボードの中心から外側へ向けて渦を巻くように回転しながら広がる	—	○	○	○
5	Pixel_rain モード	キー毎にランダムカラーで点灯消灯を繰り返す	—	—	○	○
6	Jellybean_raindrops モード	キー毎にランダムカラーで点灯色が変わる	—	—	○	○
7	Splash モード	入力したキーを中心にレインボーグラデーションが広がる	○	○	○	○
8	Reactive モード	キー入力した瞬間だけ点灯した後、ゆっくり消灯	○	○	○	—

■ バックライトの操作と設定変更

バックライトの操作と設定変更は [Fn] キーと一部のキーを組み合わせで行います。

色相 (Hue) 変更

- ・ [Fn] キーを押しながら ['] キーを押す毎にプラス方向に変化します。
- ・ [Fn] キーを押しながら [;] キーを押す毎にマイナス方向に変化します。

彩度変更

- ・ [Fn] キーを押しながら [/] キーを押す毎にプラス方向に変化します。
- ・ [Fn] キーを押しながら [.] キーを押す毎にマイナス方向に変化します。

輝度調整 (5 段階／初期設定：100%)

- ・ [Fn] キーを押しながら [↓] キーを押す毎に輝度が暗くなります。
- ・ [Fn] キーを押しながら [↑] キーを押す毎に輝度が明るくなります。

速度調整 (5 段階／初期設定：50%)

- ・ [Fn] キーを押しながら [←] キーを押す毎に変色速度が遅くなります。
- ・ [Fn] キーを押しながら [→] キーを押す毎に変色速度が速くなります。

■ VIA app について

「VIA app」を使用することで、バックライトの設定を変更したり別のエフェクトを割り当てることが可能です。詳しくは後述の「VIA app について」を参照してください。

ファームウェアの書き換えについて（DFU モード）



- 弊社提供のファームウェア以外を使用したことによって生じるいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。
- 本編に掲載している図版やスクリーンショットは、最新版と一部表示および表記が異なる場合がございます。予めご了承願います。
- 接続モードが「USB モード」の時のみ使用可能です。

本製品はオープンソースファームウェア QMK（Quantum Mechanical Keyboard）によるファームウェアの書き換えが可能です。
ファームウェアの書き換えは、**左右のキーボードを 1 台ずつ個別に PC へ接続して行います**。左右のキーボードを連結した状態では書き換えができません。
必ず下記の手順に従って正しく操作を行ってください。

ファームウェアと DFU ドライバーの準備

- Mistel の製品ページまたは株式会社プリンストンの製品ページより最新のファームウェアをダウンロードしてください。

URL <https://mistelkeyboard.com/>

URL <https://www.princeton.co.jp/product/accessory/mlmd770prou.html>

- キーボードと接続しているパソコンで「<https://qmk.fm/toolbox/>」にアクセスして、ご使用の OS に対応した『QMK Toolbox インストールプログラム』をダウンロードします。

URL <https://qmk.fm/toolbox/>



ファイアウォールソフト等によりプログラムが実行できない場合がございますので、予めプログラム実行の許可を設定しておいてください。

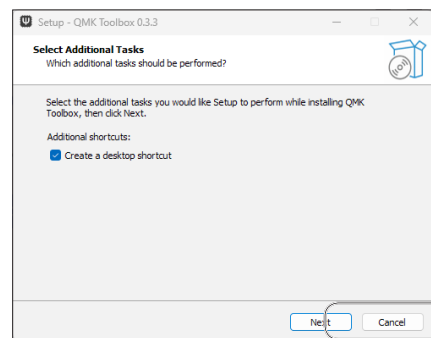
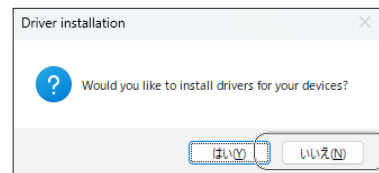
【 Windows 版をご利用の場合 】

ここではまだ QMK Toolbox の起動や、ドライバーのインストールは行わないでください。
インストール後に QMK Toolbox が起動してインストールまたはセットアップウィンドウが表示された場合、**必ず「はい」または「Cancel」を選択して QMK Toolbox を終了してください**。

引き続き、「DFU ドライバーのインストール」に進みます。

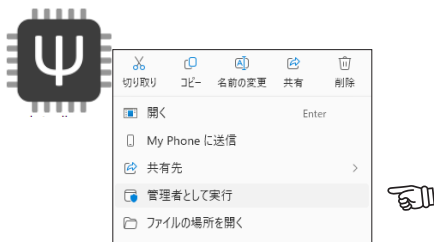
【 macOS 版をご利用の場合 】

QMK Toolbox のインストールが完了しましたら「ファームウェア書き換え」に進んでください。

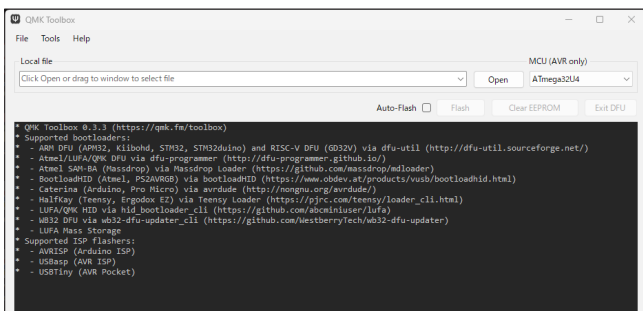


DFU ドライバーのインストール（Windows 版のみ）

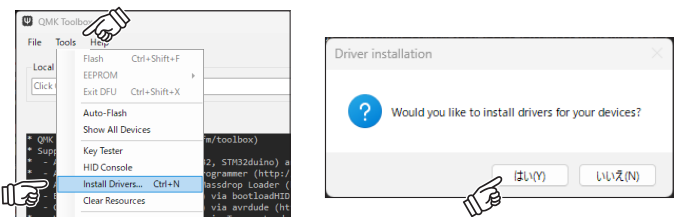
- インストールした QMK Toolbox を**管理者権限で起動**します。
※ 管理者権限での起動は下記手順にある「Driver Installation」で必要になります。



- QMK Toolbox プログラムが起動します。



- メニューの「Tools」→「Install Drivers」を選択します。
「Driver Installation」のウィンドウが表示されますので、「はい」ボタンをクリックしてください。



コマンドプロンプトのウィンドウが開き、各 DFU ドライバーのインストールが行われます。
(インストール完了後このウィンドウは自動で閉じられます。)

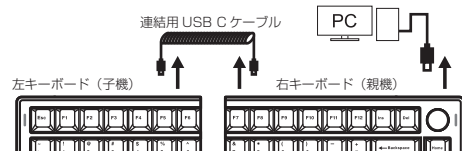
- 引き続き、「ファームウェア書き換え」に進みます。

ファームウェア書き換え

(※下記説明では Windows 版の画面を使用しています。)

1. パソコンからキーボードを取り外す

パソコンとキーボードが接続されている場合は、キーボードを取り外してください。
キーボードに接続されている USB ケーブルもすべて取り外してください。

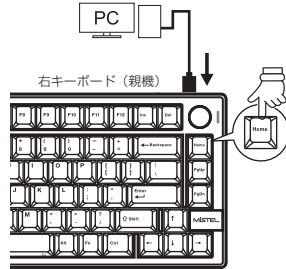


2. キーボードを接続する

本キーボードのファームウェアの書き換えは、**左右のキーボードを 1 台ずつ個別に PC へ接続して行います。**
必ず一方のキーボードのファームウェアの書き換えが完了した後、手順 1 に戻り残りのキーボードのファームウェアの書き換えを行ってください。

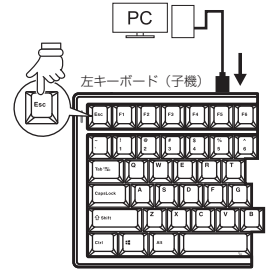
右キーボード (親機) のファームウェアを書き換える場合

[Home] キーを押しながら、付属の PC 接続用 USB ケーブルの USB-C コネクタを右キーボード (親機) の右側の PC 接続用 USB-C ポートに接続し、USB-A コネクタをパソコンの USB ポートに接続してください。
(※バックライトは消灯した状態です。)

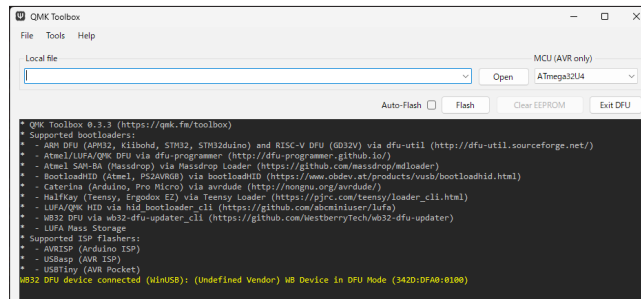


左キーボード (子機) のファームウェアを書き換える場合

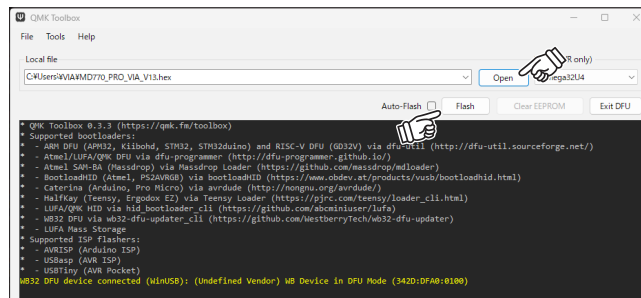
[Esc] キーを押しながら、付属の PC 接続用 USB ケーブルの USB-C コネクタを左キーボード (子機) の右側の USB-C ポートに接続し、USB-A コネクタをパソコンの USB ポートに接続してください。
(※バックライトは消灯した状態です。)



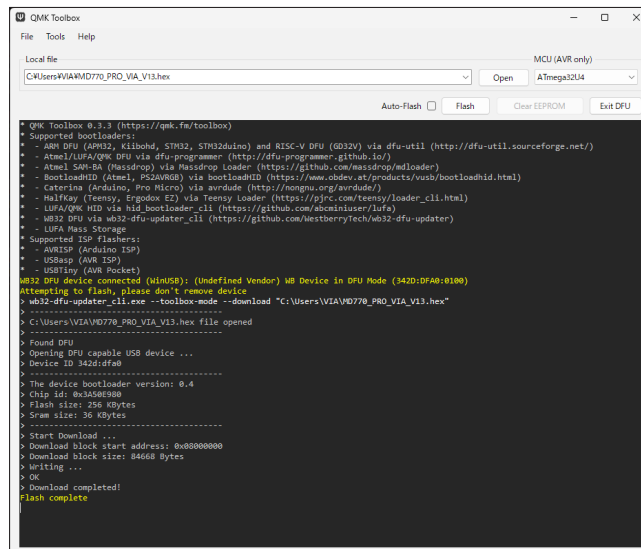
QMK Toolbox プログラム上に「DFU device connected」(キーボードが DFU モードで接続されたことを示すメッセージ) が表示されます。



3. 「開く (Open)」を押してファームウェアファイルを選択し、「フラッシュ (Flash)」を押してファームウェアの書き換えを開始します。



4. 書き換えが完了すると、画面下部に「フラッシュが完了しました (Flash completed)」というメッセージが表示されたら書き換え完了です。



5. 引き続きもう一方のキーボードのファームウェアを書き換える場合は、パソコンに接続している PC 接続用 USB ケーブルを取り外し、手順 1 に戻りファームウェアを書き換えてください。 左右のキーボードのファームウェアの書き換えが完了した場合は、QMK Toolbox を終了して USB ケーブルをすべて取り外してください。

VIA app について



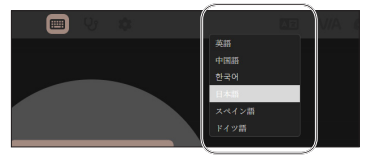
- ・ VIA app のご利用には Edge や Chrome などの Chromium 系ブラウザとインターネット接続が必要です。キーボードを接続しているパソコンがインターネットに接続されていることをご確認ください。
- ・ Bluetooth モードでの接続では使用できません。

本製品は VIA app によるキーボードのカスタマイズが可能です。

- ・ キーのリマップ（マッピング）
- ・ マクロの作成と割り当て
- ・ キーボード設定の保存／読み込み
- ・ バックライトの設定

VIA app の画面表記について

本説明および図版では日本語翻訳されたページを使用しておりますが、一部原文（英語）と意味合いが異なる表現もございます。
英語の設定画面を表示されたい場合は画面右上の言語選択より変更可能です。



VIA app の準備

1. キーボードと接続しているパソコンで下記 URL から『JSON ファイル』をダウンロードしてください。

URL <https://mistelkeyboard.com/>

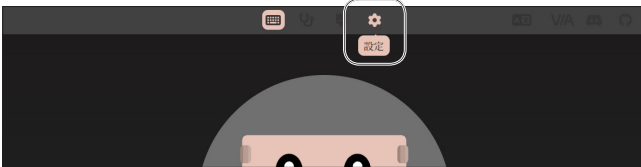
または

URL <https://www.princeton.co.jp/product/accessory/mlmd770prou.html>

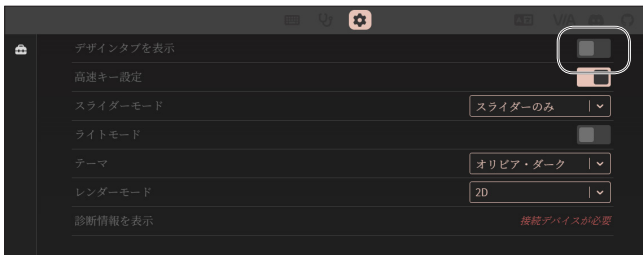
2. 引き続きキーボードと接続しているパソコンで下記 URL にアクセスします。

URL <https://usevia.app/>

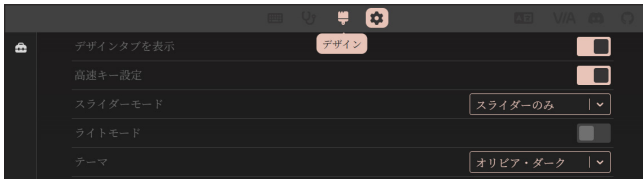
3. 画面上部の「設定」をクリックして設定画面を表示します。



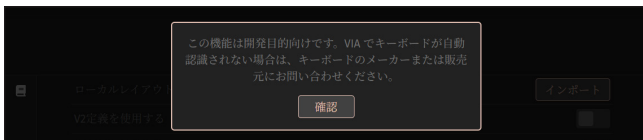
「デザインタブを表示 (Show Design tab)」のスイッチをオンにすると、画面上部に「デザイン (DESIGN)」アイコンが表示されます。



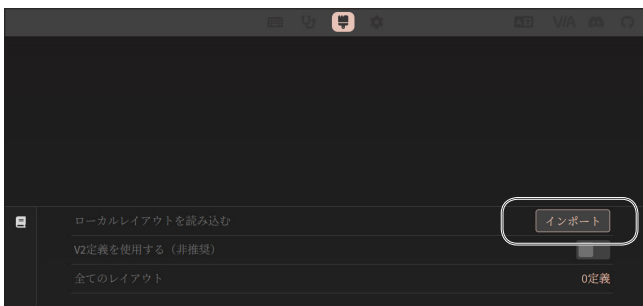
4. 表示された「デザイン (DESIGN)」をクリックしてデザイン画面を表示します。



5. デザイン画面を初めて開いた時、ダイアログが表示されることがあります。内容をご了承したら「確認 (Confirm)」をクリックします。



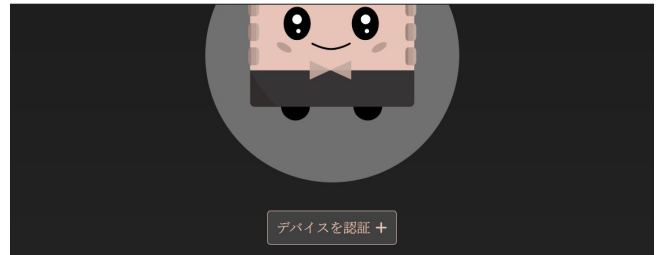
「インポート (Load)」をクリックして手順 1 でダウンロードした『JSON ファイル』を選択して開きます。



6. 『JSON ファイル』が正しく読み込まれると画面上部にキーボードの図が表示されます。



キーボードを接続した状態で画面上部の「設定 (CONFIGURE)」をクリックすると認証画面が表示されますので画面下部の「デバイスを認証 (Authorize device)」をクリックします。



本製品を選択後「接続」をクリックします。

※本製品が表示されない場合は一度USBケーブルまたは2.4GHzレシーバーを抜き、再度接続してみてください。



7. 本製品のキーボード画面が表示されたら準備完了です。



レイヤー

本製品には5種のキーレイアウト（レイヤー）を設定可能です。
番号をクリックしてレイヤーを選択するとキーボードの表示（キーマップ）が変わります。
キーのマッピング（キーの割り当て）をする際は、どのレイヤーのキーを変更するか確認してください。

本製品の初期設定は以下の通りです。

LAYER0	Windows モードのキーマップ
LAYER1	Windows モードで [Fn] キーと同時押しした場合のキーマップ
LAYER2	Mac モード時のキーマップ
LAYER3	Mac モードで [Fn] キーと同時押しした場合のキーマップ
LAYER4	未設定

 レイヤー機能については後述「キーボードレイヤーの移動について（LAYERS）」を参照してください。



キーのマッピング（KEYMAP / キーの割り当て）

任意のキー入力の下記種類のキー機能に変更することが可能です。
画面左端のアイコンから「KEYMAP」を選択するとマッピング画面が表示されます。

基本 (BASIC)	英数字キー、記号キー、修飾キー、スペース、Enter、Tab、Backspace など 主に「通常入力で使用するキー」を割り当てる際に使用します。
メディア (MEDIA)	主に「メディアコントロール関連のキー」を割り当てる際に使用します。
マクロ (MACRO)	ユーザーが作成したマクロ（M0～M15）が表示されます。 複数のキー入力（例：Ctrl+C、Ctrl+V）を1つのキーに割り当て可能です。 ※ マクロを割り当てる際は後述の「マクロ（MACROS / マクロの作成と割り当て）」を参照して、予めマクロを作成してください。
レイヤー (LAYERS)	各レイヤーへ移動するためのキーを割り当てる際に使用します。  レイヤー機能については後述「キーボードレイヤーの移動について（LAYERS）」を参照してください。
特別 (SPECIAL)	特殊キーやナビゲーションキー、システムコマンドキーなどを割り当てる際に使用します。
ライティング (LIGHTING)	キーボードのバックライトをコントロールするキーを割り当てる際に使用します。
カスタム (CUSTOM)	OSモード（Windowsモード / Macモード）の切り替えキーを割り当てる際に使用します。



■ マッピングの手順

- 画面左端のアイコンから「キーマップ（KEYMAP）」を選択するとマッピング画面が表示されます。
- 画面左上の「レイヤー（LAYER）」からマッピングするレイヤーを選択します。
画面上部のキーレイアウトに現在の設定が表示されます。
「▽」はレイヤー移動前のキーと同じ動作をします。
- 画面上部のキーレイアウトから変更するキーを選択すると、選んだキーが点滅します。
- キーマップのメニューを選択して画面下部のキー一覧から登録したいキーを選べると、画面上部の点滅しているキーの表示が変わります。



■ キーボードレイヤーの移動について（LAYERS）

キーボードレイヤーを使用することによって限られたキーボードスイッチで複数の機能を使用することができます。レイヤーの移動方法には下記のような方式があります。

Fn1 (Fn3) / Fn2 (Fn3)	MO のように押した時のみ対象のレイヤーに移動します。移動先のレイヤーにもう片方を準備して 2 つのキーを順に同時押しした際は LAYER3 へ移動します。
Space	短く押した際はスペースキーとして動作し、長押ししたときは MO と同様の動作になります。
MO	押している間だけ対象のレイヤーに移動し、キーを離すと元のレイヤーに戻ります。(括弧内の数字＝移動先のレイヤー番号)
TG	対象のレイヤーにトグルで移動します。TG でレイヤーを移動した場合、移動先のレイヤーに同じ TG を割り当ててそのキーを押すと元のレイヤーに戻ります。(括弧内の数字＝移動先のレイヤー番号)
TT	MO と同様の動作になります。5 回連続で押すと TG のように動作します。(括弧内の数字＝移動先のレイヤー番号)
OSL	次に何かキーが入力されるまで対象のレイヤーに移動した状態になります。キー入力後に元のレイヤーに戻ります。(括弧内の数字＝移動先のレイヤー番号)
TO	対象のレイヤーに移動します。(括弧内の数字＝移動先のレイヤー番号)
DF	現在のレイヤーに対象のレイヤーのキーマップを一時的にコピーします。キーボードから USB ケーブルを抜くとレイヤーのキーマップは元に戻ります。(括弧内の数字＝移動先のレイヤー番号)



■ マクロ（MACROS / マクロの作成と割り当て）

任意のキーに予め作成した複数のキー（コマンド）入力を割り当てることができます。

■ マクロの作成手順

- 画面左端のアイコンから「マクロ (MACROS)」を選択すると、マクロ作成画面が表示されます。
- マクロの登録先を「M0」～「M15」から選択します。
最大 16 個のマクロを登録可能です。
- を押して全画面 (FULL SCREEN) にします。
- スマート最適化 (SMART OPTIMIZATION)、 遅延を録音 (RECORD DELAYS) を設定します。

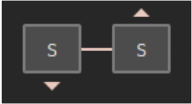
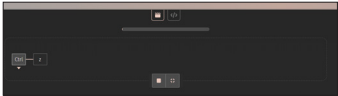
	スマート最適化 (SMART OPTIMIZATION)	オンの状態でキー入力すると、キーの入力時間が自動で最適化され入力したキー情報のみが表示されます。 オフ (SKIP) の状態でキー入力すると、キーを押す「▼」放す「▲」がそれぞれ記録されます。
	遅延を録音 (RECORD DELAYS)	オンの状態でキー入力すると、実際にキーを押したときの間隔をそのまま記録します。(スマート最適化がオフの時は放したときの間隔もそのまま記録します。) オフ (SKIP) の状態でキー入力すると、キー入力の間隔を最短時間で記録します。



- キー入力を録音 (RECORD KEYSTROKES) を押してキー入力の記録を開始します。
記録中は が 停止 に変わります。

この状態でキーボードを使用して登録するキーを順番に押します。
キーを入力するとキーが画面に表示されます。

スマート最適化がオフ (SKIP) の場合
 - キーを押すとキー表示の下に「▼」が表示されます。
 - キーを放すとキー表示の上に「▲」が表示されます。マクロの記録を終了するには を押します。



スマート最適化がオンの時は、
押す「▼」放す「▲」の表示はされません。

- マクロが記録されると●ボタンの左側に
 変更を元に戻す (UNDO CHANGES)
 変更を保存 (SAVE CHANGES) が追加されます。

	変更を元に戻す (UNDO CHANGES)	入力したキーが全て破棄されます。
	変更を保存 (SAVE CHANGES)	入力したキーを保存します。

入力したキーを一つだけ削除する場合は、
キー右上の「×」をクリックします。



- 既に登録済みのマクロを削除する場合は、M0 ～ M15の中から削除したいマクロを選択して を押します。

■ コードを使用してマクロを登録する

マクロ作成上部の「< / >」をクリックすると、コード入力画面が表示されます。この画面ではキー入力の順番や間隔をコードで作成することができます。
コード作成の詳細は https://docs.qmk.fm/keycodes_basicなどを参照してください。



設定の保存と読み込み（SAVE+LOAD）

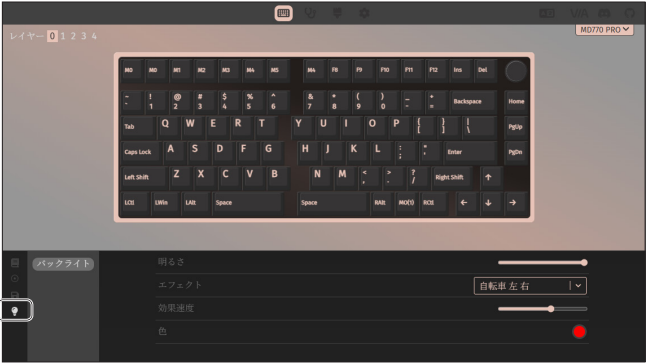
現在の設定を保存したり、保存されている設定を読み込むことができます。
画面左端のアイコンから「保存・読み込み（SAVE+LOAD）」を選択すると、保存／読み込み画面が表示されます。



保存（SAVE）	現在の設定をファイルに保存
インポート（LOAD）	保存したファイルから設定を読み込む

バックライトの設定（LIGHTING）

バックライトの設定を変更します。点灯状態を確認しながら設定変更が可能です。
画面左端のアイコンから「バックライト（LIGHTING）」を選択すると、設定画面が表示されます。



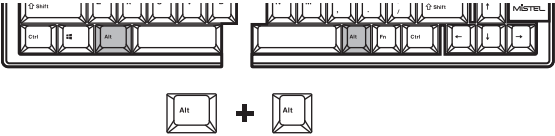
明るさ（Brightness）	[輝度]：スライダーでバックライトの輝度を調節します。
エフェクト（Effect）	[点灯モード]：点灯モードを選択します。 キーボードのショートカットで設定可能な点灯モード（エフェクト）以外にも、多数の点灯モードおよび色設定が可能です。 ※ 本アプリに接続中はショートカットキーでRGBバックライトの設定を行わないでください。
効果速度（Effect Speed）	[スピード]：スライダーでバックライトの点灯速度を調節します。 ※ 一部のエフェクトでは本設定が無効になります。
色（Color）	[カラー]：カラーパレットからバックライトカラーを選択できます。

リセット／工場出荷時の状態に戻す



- リセット操作をすると、全て工場出荷時の状態に戻ります。LED1 と LED2 が白色に 3 回点滅します。（Win キーロック、キーマッピング、ライティング、OS モードなどのすべての設定が含まれます）
- VIA app にて設定を行っている場合、リセット操作の前に設定を保存しておくことをおすすめします。

左右の [Alt] キーを LED1 と LED2 が 3 回点滅（白色）するまで長押しします。
LED が消灯したらリセット完了です。
リセット操作後は、本製品を一度パソコンから取り外し再度接続することをおすすめいたします。



製品保証に関して

必ず「製品保証に関して」をよくお読みいただき、十分内容をご理解いただいた上でご使用ください。

困った時は？

製品のよくあるご質問について
製品についてよくあるご質問を紹介しています。
URL <https://faq.princeton.co.jp/>

製品情報や対応情報について
最新の製品情報や対応情報を紹介しています。
URL <https://www.princeton.co.jp/>

テクニカルサポート

Web からのお問い合わせ

URL <https://www.princeton.co.jp/support/contacts>

株式会社プリンストン テクニカルサポート

TEL 03-6670-6848 ※ つながらない場合は、E-mail でのお問い合わせもご利用ください。
受付：月曜日～金曜日の 9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00（祝祭日および弊社指定休業日を除く）

製品保証規定

保証期間：1 年保証

- お買い上げいただいた製品が、取扱説明書等に従った正常な使用状態で万一故障した場合に、本保証規定に従い無料にて故障の修理をいたします。
- 修理の際には製品と本保証書をご提示または添付の上、ご依頼ください。
- 保証期間内であっても、次の場合には有償修理となります。
 - 1) ご購入履歴が確認できない場合。
 - 2) 本保証書のご提示がない場合。または記入漏れ、改ざん等が認められた場合。
 - 3) 弊社もしくは弊社指定保守会社以外での修理、調整、改造、部品交換に起因する故障および損傷。
 - 4) 接続している他の機器に起因して生じた故障および損傷。
 - 5) お買い上げ後の輸送や移動による落下、水などの液体こぼれ、水没等不適当なお取り扱い、または使用上の誤りにより生じた故障および損傷。
 - 6) 火災、地震、水害、塩害、落雷、その他天地異変、異常電圧などにより生じた故障および損傷。
 - 7) 寿命を有する部品や消耗品（バッテリー、乾電池等）の自然消耗、摩耗、劣化等による場合。
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan）
- 製品保証に関しての記載も併せてご覧ください。

保証書

製品型番：

ご購入日： 年 月 日 保証期間： 製品保証規定を参照

フリガナ

お客様名： 様
〒

住所：

電話番号： - - E-mail：

販売店名・住所・電話番号（販売店印）



PRINCETON

株式会社プリンストン
URL: <https://www.princeton.co.jp>

製品保証に関して

- 万一、正常な使用状態において製品のご購入から1年以内に製品が故障した場合は、弊社による故障の原因等の確認完了後、修理/製品交換対応させていただきます。なお、修理にて交換された本体および部品に関しての所有権は弊社に帰属するものといたします。
- 修理/製品交換の有償無償の判断につきましては、弊社または弊社指定の保守会社により行わせていただきます。
- 保証の対象となる部分は製品部分のみで、添付品や消耗品は保証対象より除外とさせていただきます。
- 本製品の故障または使用によって生じた損害については、保証の範囲外となり、直接的・間接的問わず、弊社は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- 弊社は商品どうしの互換性問題やある特定用途での動作不良や欠陥などの不正確な問題に関する正確性や完全性については、熟示的にも明示的にもいかなる保証も行っており、互換性問題や特定用途での動作不良等により発生する障害、損害、損失等について一切の責任を負いません。
- 一度ご購入いただいた商品は、弊社にて商品自体の不良が確認されない限り、返品または交換はできません。対応機種間違いによる返品はできませんので予めご了承ください。
- 保証期間内であっても、次の場合は保証対象外となり有償修理となります。
 - ご購入履歴が確認できない場合。
 - 保証書のご提示がない場合。または記入漏れ、改ざん等が認められた場合。
 - 取扱説明書記載の動作条件ならびに機器設置環境を満足していない場合。
 - 弊社もしくは弊社指定の保守会社以外での修理、調整、改造、部品交換に起因した故障および損傷。
 - 設備、環境の不備等、使用方法および、注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障および損傷。
 - お客様が独自にインストールされたソフトウェアに起因して生じた故障および損傷。
- 保証期間内であっても、次の場合は無償/有償問わず一切の保証はありません。
 - 盗難された場合。
 - 紛失した場合。
- お買い上げ製品の故障もしくは動作不具合により、その製品を使用したことにより生じた直接、間接の損害、HDD等記憶媒体・記憶装置に記憶されたデータ、プログラムならびに設定内容の消失、破損、変更等により生じる損害、逸失利益、ダウンタイム（機能停止期間）、顧客からの信用喪失による損害、設備および財産の損害、設備等の交換費用、お客様および関係する第三者の製品を含むシステム上のデータ、プログラム、またはそれらを修復する際に生じる費用（人件費、交通費、復旧費）等、一切の損害につき弊社は、その責任を負いません。また、限定保証の明記がされていない場合であっても、弊社は、契約上または法律上の一切の責任を負いかねます。
- 弊社は、製品を運用・使用した結果生じるあらゆる影響につき、一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 消費者契約法等により弊社が賠償責任を負うこととなる場合、弊社はお客様が購入された弊社製品などの価格相当額を超えて賠償責任を負うものではありません。

製品修理に関して

- 保証期間内の修理は、弊社テクニカルサポートまでご連絡いただいた後、故障品を弊社まで送付していただきます。故障品送付の際、弊社までの送料はお客様のご負担となりますことを予めご了承ください。修理完了品または代替品をご指定の場所にご送付させていただきます。
- 動作確認作業中および修理中の代替品・商品貸し出し等はいかなる場合においても一切行っておりません。
- お客様に商品が到着した日から1週間以内に、お客様より弊社に対して初期不良の申請があった場合で、なおかつ弊社側の認定がなされた場合にのみ初期不良品として、正常品もしくは新品との交換をさせていただきます。その際はご購入時の梱包、箱、保証書などの付属品等が全て揃っていることが条件となります。
- 製造終了等の理由により交換商品が入手不可能な場合には同等品との交換となります。
- お客様の設定、接続等のミスであった場合、また製品の不良とは認められない場合は、技術料およびチェック料をいただく場合がございますので予めご了承ください。
- お客様の御都合により、有料修理の撤回・キャンセルを行われた場合は技術作業料および運送料を請求させていただく場合がございますので予めご了承ください。
- サポートスタッフの指示なく、お客様の判断により製品をご送付いただいた場合で、症状の再現性が見られない場合、および製品仕様範囲内と判断された場合、技術手数料を請求させていただく場合がございますので予めご了承ください。

製品／お問い合わせに関して

■テクニカルサポート・商品および保証に関するお問い合わせ先

Web からのお問い合わせ

URL <https://www.princeton.co.jp/support/contacts>

株式会社プリンストン テクニカルサポート

TEL 03-6670-6848 ※ つながらない場合は、E-mail でのお問い合わせもご利用ください。
受付：月曜日～金曜日の 9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00（祝祭日および弊社指定休業日を除く）